

D-12 主婦の家政意識
(家庭科教育面を通して)

| | |
|---------|--------|
| 椋山女学園高校 | ○岡野千枝子 |
| 椋山女学園短大 | 生川 浩子 |
| 山田家政短大 | 森川 きく |
| 椋山女学園大 | 高田 ひさ |

1. 私共は、現在の生活に適応する家政のあり方を考究するために、第1報として「主婦の近代的家政意識」について、団地に居住するものと、一般地域に居住する主婦の家政意識を、比較考察した。第2報は「主婦の家政意識」と題してその内容を、(1) 家庭生活を通じた主婦の考え方、(2) 家庭の仕事を通じた主婦の考え方を中心として主婦の有職者、無職者のそれぞれについて、家政意識——を調査した。今回(3報)は家庭科教育の面より主婦の家政意識を考察した。現在、問題になっている家庭科教育について、子女をもつ主婦がどのように考えているかを調査し、家庭科教育のあり方についても考察した。

2. 主として30代、40代の子女をもつ主婦を対象とし、家庭科の内容をとりあげ、それらについて、主婦のうけた家庭科教育や、生活経験を通して、現在および今後のあり方を調査した。また、婦人および家庭生活に関係ある社会教育面に対し、その関心度をも合わせて調査し、主婦の家庭生活の考え方を見た。

3. 以上の調査結果から、家庭科教育の内容を通しての、主婦の家政意識が見られた。

なお、家庭科教育のあり方の一部分について、今後考えるべき点がみられたから報告する。